

令和5年第421回信濃町議会定例会3月会議 会議録(3日目)

(令和5年3月6日 午前9時45分)

- 議長(佐藤武雄) おはようございます。本日の出席議員は12名であります。本日の会議を開きます。本日の議事日程はお手元に配布のとおりであります。日程第1、通告による一般質問を行います。質問時間は最大1時間を目途に、質問者、答弁者は進行にご協力願います。また、答弁者及び質問者の都合により、質問の順序を変更することがありますので、あらかじめご承知願います。なお、質問者と質問者との間に10分程度の休憩を取ることといたします。

通告の1、北村富貴夫議員。

- 1、安全に確かな暮らしができる町づくり
- 2、病院周辺の環境整備
- 3、野尻湖周遊道路・遊歩道の整備

議席番号1番、北村富貴夫議員。

- ◆1番(北村富貴夫) おはようございます。議席番号1番、北村富貴夫でございます。通告に沿いまして、質問させていただきます。よろしくお願いいたします。質問が多くボリュームがありますので、答弁は簡潔明瞭でわかりやすくお願いいたします。また質問の内容によっては順番が前後することがありますが、よろしくお願いいたします。過去に質問した内容について再度質問する場合がありますので、今までは検討するという回答であったものは、その後どのようなようになったのか等伺います。物価高騰で生活がだいぶ苦しくなっています。ロシアによるウクライナ侵攻により、エネルギー価格の高騰、円安の進行など、原因はそれぞれいろいろあると思えますけれども、しっかりとした支援が必要です。電気料金も海外依存の燃料高騰などにより、びっくりするほど値が上がりました。生活困窮世帯には、物価高騰を目的に支援金が支給されます。また、農業者に対しても、農産物販売金額に応じて、物価高騰対策支援金が支給となります。速やかに支援できるような体制をしっかりとお願いするものです。新型コロナの感染症法上の位置づけが、5月8日からインフルエンザと同じように、5類に分類されることが決まりました。マスク着用の判断は、個人に委ねるようになるとのことですが、今年はスギ花粉が例年より多いと言われていています。スギ花粉症の方にとっては、花粉が飛散する前から薬を服用していますけれども、なかなかマスクと離れるわけにはいきません。以前、無花粉スギの植林についても質問しました。しっかりとした対応をしていただきたいと思います。コロナ禍という言葉は言葉が飛び交いましたが、今後3年前のような生活に戻るのではないかと期待しています。また、信濃町でもコロナワクチン予防接種にだいぶ翻弄され、職員の皆さんは通常のルーチン業務のほかに対応されたことにご苦労があったと思います。最強寒波が1月末に襲来し大雪に驚くと同時に、除雪のありがたさに感動していました。除雪作業をしている業者の皆さんは、住民の生活に直結する道路を早朝から作業

令和5年第421回信濃町議会定例会3月会議 会議録(3日目)

を行っていただき、感謝しているところです。子育て支援についても、地域の子育て支援、機能の充実を図り、子育ての不安感を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援することを目的に、しっかりとした支援をすべきと考えます。さて、令和2年3月に策定された第6次長期振興計画では、今後10年間の信濃町のあり方等が記載されています。その中に安全に確かな暮らしができる町づくりと、町という基本目標があります。町内の犯罪件数も記載されています。地域ぐるみでの防犯意識の高揚、交通事故防止等、課題をどのように考えていますか。防犯対策として、防犯カメラの設置、犯罪を防止するために安心安全の町づくり、地域社会における人間関係の希薄化が進行する中で、高速道路網が発達し広域の強盗事件が発生しています。町民の不安は増すばかりです。警察の捜査手法である聞き込み捜査だけでは、有力な情報を得ることが難しい状況となってきているとのことです。その一方で、近年防犯カメラは様々な場所で普及しており、駅、コンビニやエレベーターでは、防犯カメラがあたりまえに設置するようになってきました。また、駅や道路、公園といった公共空間で防犯カメラを見かけることも多くなりました。防犯灯対策について、夜間の路上防犯等、防犯灯の現在の設置状況や、その流れについて伺います。最初に町長の考えをお伺いしたいと思います。

●議長(佐藤武雄) 鈴木町長。

■町長(鈴木文雄) おはようございます。ただ今いただきました北村議員からのご質問にお答えいたします。まず防犯灯、防犯カメラの設置状況についてお答えする前段で、地域ぐるみの防犯意識の高揚など、町としての考え方についてお答えいたします。町の第6次長期振興計画におきましては、令和5年の目標といたしまして、刑法犯の認知件数23件以下、そしてまた交通事故の発生件数を13件以下という目標を掲げまして、活動を行っているところでございますが、最近の昨年度の件数を見ますと、刑法犯は11件、交通事故は15件という事になっておりまして、刑法犯は目標値を下回っておりますけれども、交通事故については、目標と比べますと2件ほど上回っていると、そんな状況であります。町といたしましては、防犯協会、長野中央少年警察ボランティア協会等の皆さんと連携をいたしまして、様々な活動を行っているところでございます。内容といたしましては年2回8月と10月になりますけれども、飲食店やタバコ、お酒を販売している商店を訪問いたしまして、未成年者に提供しないようお願いしたり、朝の通勤通学の時間に合わせて、黒姫駅、古間駅で啓発活動等を行っております。また、夜間のパトロール、防犯看板の設置、啓発チラシの配布などを行っておりますし、長野市内での非行防止活動にも取り組んでおります。また、電話詐欺や訪問販売などの情報が寄せられた場合には、防災行政無線などを利用いたしまして随時住民の皆様にご注意喚起を行っているところであります。当町におきましては、現時点において幸いにも大きな犯罪は発生しておりませんが、今後も防犯意識の高揚を図っていくため、警察、防犯協会、少年警察ボランティア協会等との連絡を密にしながら活動していかなければならないと考えております。その他防犯カメラ、防犯灯の設置状況等の詳細につきましては、担当課長の方から説明させていただきますので、どうぞよろしくお願いたします。

令和5年第421回信濃町議会定例会3月会議 会議録(3日目)

●議長(佐藤武雄) 北村富貴夫議員。

◆1番(北村富貴夫) はい。町長から注意喚起をさらにやっていくということをしていただきました。ぜひ今後も注意喚起をしっかりとやっていただいで、刑法犯は目標を下回っておりますけれども、事故等は実際には増えているということでございますので、しっかりとやっていただければと思います。それから防犯灯は全てLEDになっているかどうかをお伺いしたいと思いますが、よろしくをお願いします。

●議長(佐藤武雄) 松木総務課長。

■総務課長(松木和幸) それでは具体的な事項ですので、私の方からお答えをさせていただきますと思います。総務課で管理しております防犯灯、約170灯ございます。これについては全てLED化しております。また各地区で管理をされております防犯灯がございます。それに対しましては、町から補助金をお出ししているんですが、補助金を出させていただいたのが平成26年度からになります。現在までに1360灯分の補助金を支出しております、2040万円ほどお出しをさせていただいております。だいぶ進んでいるだろうと思いますし、このごろはだいぶ少なく補助申請もなくなってきているところでございます。一応令和5年度から補助要綱を見直しをする中で、もう10年近くたってきましたので、LED器具自体が消えると交換をしなければならないと、今のところ器具交換、LEDの器具交換というのは、補助対象ではなかったのですが、令和5年度からはそれも対象にしようということで、今予定をしているところでございます。今後も総代会を通しまして、LED化に向けてご説明できればなと考えているところでございます。以上です。

●議長(佐藤武雄) 北村富貴夫議員。

◆1番(北村富貴夫) はい。LEDについて、1360灯今、申請もあるようですが、全てがLED化され、そしてまた明るくなっていけば良いかなと思います。今のお話の中に、LEDの管についても今後補助要綱を変えていただくということですので、そこもしっかりとやっていただければと思います。それから全国的に防犯対策、防犯意識が高まっているわけですが、防犯カメラについては、他の市町村では防犯対策の強化が進められておりますけれども、現在の整備状況についてお伺いしたいと思います。

●議長(佐藤武雄) 松木総務課長。

■総務課長(松木和幸) はい。総務課と言いますか、町で今管理をしているというか、設置した物につきましては、令和2年度に長野県警察街頭防犯カメラ設置促進事業補助金、この補助金を活用させていただきまして、黒姫駅の南地下道に1機設置をしてございます。工事費については71万7000円ほどかかるわけでございますが、その3分の1

令和5年第421回信濃町議会定例会3月会議 会議録(3日目)

を補助金としていただいて設置をさせていただきました。今のところこちらで管理しているのは、その1基のみという形になります。以上です。

●議長(佐藤武雄) 北村富貴夫議員。

◆1番(北村富貴夫) 防犯カメラについて、まず通学路についてはもっと設置すべきと思うのですが、そのへんの計画についてはどのように考えていますか。

●議長(佐藤武雄) 佐藤教育長。

■教育長(佐藤尚登) 通学路の防犯カメラ設置についてのお尋ねですが、ご案内の通り、防犯カメラ設置により一定の犯罪抑止効果は期待できると思っておりますが、ただ当然反面プライバシー侵害であるとか、あるいはデータの管理をどうするのか、さらには財政面等の課題もありまして、教育委員会として現時点で通学路に防犯カメラを設置するという計画はありません。防犯カメラはあくまでも補完的なものであり、設置については地域の要望や警察及び地域の皆さん等の役割分担も含めて、今後検討して参りたいと考えています。なお、申すまでもない事ですが、子どもたちを犯罪から守る一番大きな力は、町民の方々の目だと考えます。信濃小中学校の登下校時における見守りボランティアの皆さん、また下校時刻には、皆さんお聞きになっていると思いますが、町の防災行政無線放送での地域の皆さんの見守りをお願いする啓発放送などをして、関係機関や町民の皆さん方のご協力をいただいて、今後も子供たちを犯罪から守る活動を継続して参りたいと考えているところです。

●議長(佐藤武雄) 北村富貴夫議員。

◆1番(北村富貴夫) はい。町民の目というのは、大変重要なことだと私も思います。しかし、最終的にはその通学路に、やはりカメラ等は必要ではないかなと思いますので、ぜひ今後検討していただければと思います。犯罪が広がり犯罪が広域的になってきまして、犯罪を犯した人、それから犯罪を犯そうと思ひ信濃町に流入してくることもあろうかと思ひます。そういう方も防犯カメラがいろいろな場所にあれば、犯人の逮捕等に役に立つのではないかと思います。危険と思われる場所はいくつもあると思ひますが、そういう防犯カメラ等の必要性があると思ひますので、今後の計画はありますか。その辺をお伺ひしたいと思ひます。

●議長(佐藤武雄) 松木総務課長。

■総務課長(松木和幸) 先ほどお話をしました南の地下道、これについては、地区からの要望がありまして設置をした経過がございます。やはりその地区からの要望、先ほど教育長からもお話させていただきましたが、そのプライバシーの方の観点もござい

令和5年第421回信濃町議会定例会3月会議 会議録（3日目）

ので。また、総務省等からその防犯カメラのガイドブックというのが出ているのですが、その中にも撮影されたくない者への配慮、これを行うことが重要だと記載されておりますので、各地区から要望をいただく中でその地区との連携をする中で、また必要があれば設置をしていくという形になろうかと思っております。以上でございます。

●議長（佐藤武雄） 北村富貴夫議員。

◆1番（北村富貴夫） はい。プライバシーの配慮は大変重要ですので、そこも考えながら計画していただければと思います。今後も継続して地域づくり、地域の住民が安心安全に暮らしていけるよう防犯対策、交通安全意識の高揚などを高めるように対策をしっかり進めていただければと思います。続いての質問は、新病院周辺の環境整備についてです。新病院の周辺、旧柏原小学校の周辺でございますが、道路の狭い所もあり、同僚議員からも過去に質問がありました。また、柏原小前線の道路整備については町長の挨拶にもありました。以前にも質問しましたが、環境面で見えていくと支障木の伐採すべき所があると思いますが、どのように考えていますか。現在の進捗状況についてもお伺いしたいと思っております。

●議長（佐藤武雄） 丸山病院事務長。

■病院事務長（丸山茂幸） 新しい病院、病院再整備計画の中での支障木の状況でございます。旧柏原小学校の解体工事は本年度終了してございますが、その辺の周囲の樹木につきましては、以前からご説明申し上げてきているところでございますが、工事施工で支障になる物は、基本的に撤去の方針で進めてまいりました。結果、今回の解体工事におきましては敷地西側プールのあった所でございますが、そちらの付近の樹木は6本伐採をさせていただいております。校舎の周辺に関しましても解体の関わる支障の部分については、伐採伐根させていただいております。今後いろいろ住民の皆様からご意見を伺っているわけですが、ご理解をいただきながら今回工事は進めてきた状況でございます。今後も新しい病院の建設工事に入っていくわけですが、基本的には工事に支障のある部分につきましては、撤去をさせていただくというような方法で進めていきたいと思っております。

●議長（佐藤武雄） 北村富貴夫議員。

◆1番（北村富貴夫） はい。支障のある物は撤去していただくということですので、どうかよろしくお願ひします。道路上のフェンスも改修も必要と思っておりますが、その辺については、どのように考えていらっしゃいますか。

●議長（佐藤武雄） 丸山病院事務長。

令和5年第421回信濃町議会定例会3月会議 会議録(3日目)

■病院事務長(丸山茂幸) 旧柏原小学校の周囲、もともと小学校でしたので、周囲についてはフェンスがめぐらしてあるというのは確認してございます。敷地を囲うフェンス等の工作物につきましては、新しい新病院再生備計画では、新たに設置の計画は今ございませんが、既存の物が現状で今後工事を進める上で課題として挙がってくる場合もございます。一部課題も挙がってきておりますが、今後も周囲のその生活環境の上での除雪における効率性とか、あと管理における安全性の面で敷地区画内をどう管理していくのかというのが、またさらにちょっと今後調整が必要とは考えておりますが、具体的な計画は今ございません。

●議長(佐藤武雄) 北村富貴夫議員。

◆1番(北村富貴夫) はい。地域の住民の皆さんとしっかりと、話し合いを持ってやっていただければと思います。やはり傷んでいる物もありますので、そういう所はしっかりと改修していただければと思います。新病院ができて周辺が整備されていないと、新病院と言ってもなんか古い感じか、イメージとして出てきてしまいますのでしっかりと、信濃町に来たら素晴らしい病院があるなあとようになっていただければと思います。環境整備は大変重要ですのでどうぞよろしくお願いします。次の質問は、野尻湖の周辺の事についてです。信濃町の観光では大変重要なスポットです。この野尻湖の周遊道路について、過去に質問した経緯がございますが、その後の進捗状況について、周遊道路の方を先にお伺いしたいと思います。

●議長(佐藤武雄) 海口建設水道課長。

■建設水道課長(海口泰幸) ただ今北村議員の方からご質問ありました件でございますけれども、周遊道路につきましては県道の部分と町道の部分とあるわけでございますが、県道の部分につきましては、令和元年度に県道古間停野尻線、今国道の方にナウマンゾウの親子のモニュメントある所から野尻の方へ入ってくるあの直線の部分、道路改良と歩道と除雪積雪帯等々含める中で、この部分の改良をいたしました。それから、併せましてもう一か所、飯山妙高原線でサレジオ教会のある、あのあたりなんです、一部落石を防ぐために防護ネットを県の方で設置していただいております、現在そのような形の中で周遊道路の一部整備を行っているんですが、一番たぶん議員の方でも注目されている部分があると思うんですけども、町道の野尻北側にあります野尻菅川線の関係でございますが、こちらにつきましては、毛見の入り口から野尻方面に向かって約1.2キロほどの区間で県代行の事業を、今取り入れてやっていただいております。現在設計業務等、用地測量の方を進めていただいておりますが、それが済み次第、用地測量等終わることによって、どこまで用売をすれば良いかという話が出てくるかと思っておりますので、そういうところにつきましては、用地の地主の方々に対して、またその土地を譲っていただく中で、工事を進めていくという話の中で、ただ県代行の事業でございますので、現在いつ頃、すぐできるかという明確な時期的な事はお答えできませんけれども、

令和5年第421回信濃町議会定例会3月会議 会議録（3日目）

現実的には設計業務と用地測量が終わった段階で、工事の方に移るといふふうに県から聞いておりますので、それに合わせまして町といたしましても、協力できる部分については最大限協力をいたしまして、早急にそちらの整備が進むように進めていきたいと思っておりますので、また議員の方々におきましても、その辺のところをご協力できればありがたいかなと思っております。以上でございます。

●議長（佐藤武雄） 北村富貴夫議員。

◆1番（北村富貴夫） はい。今後も県代行の道路であります、しっかりとやっていたければと思います。続いて、野尻湖の遊歩道について、整備についてはどのように考えていますか。お伺いしたいと思います。

●議長（佐藤武雄） 佐藤産業観光課長。

■産業観光課長（佐藤巳希夫） 湖畔の遊歩道の新規の整備につきまして、今のところ計画はございません。現在、野尻湖畔には延長2.5キロほどの象の小道というような遊歩道もございます。こちらについては、維持管理中心に今整備を行っているところです。こちらについては、癒しの森事業でも活用されているところですので、こちらの方を重点的に整備というか、管理していきたいと考えています。以上です。

●議長（佐藤武雄） 北村富貴夫議員。

◆1番（北村富貴夫） 象の小道2.5キロということですが、少しでも遊歩道があれば観光客も来るのではないかと、本当に思っておりますので、そこはぜひ今後も少しでも伸びて行くようお願いしたいと思います。それから町長の所信の挨拶の中で、周遊ルートの開発や統一感のある案内サインの設置、ビューポイントの整備とありました。開発という言葉はいろいろとあるんですけれども、国立公園内の整備、国や県とも連携して進めるべきと思いますが、開発という事は今後どのように進めていくのか、町長にお伺いしたいと思います。

●議長（佐藤武雄） 鈴木町長。

■町長（鈴木文雄） ただ今の北村議員から周遊ルートの開発についてご質問いただきましたので、それについてお答えいたします。周遊ルートの開発につきましては、北村議員ご指摘の通り、野尻湖、黒姫高原等の町内の観光地に限らず、近隣市町村を含めました広域連携の中で、周遊ルートを設置できないかと考えております。妙高戸隠連山国立公園は、妙高、黒姫、戸隠、飯綱の高原と野尻湖を有しております、これらの地域の発展と観光産業の振興を図ることは、極めて重要なポイントかと思っておりますので、関係市町村と構成いたします信越高原連絡協議会などの活動を通じまして、情報共有し

令和5年第421回信濃町議会定例会3月会議 会議録(3日目)

ていきたいと思っております。これらの関係市町をエリアといたします、例えば善光寺から戸隠神社、それから妙高を抜けて笹ヶ峰の方へ抜けて、また野尻の方に戻ってくるというような観光拠点を結ぶルート案、周遊ルートを設定し、様々な施設や店舗を絡めたモデル候補等を設定できれば、地域が一体となった観光の柱として成り立って行くのではないかと考えております。また、ただ今申し上げたルートに関しては、環境省も、あまとみトレールということで遊歩道を設定してあります。これは先ほど申し上げました善光寺から戸隠、そしてまた笹ヶ峰を通過して野尻湖へ結び、そして最後は斑尾の山頂へつなげるというルートであります。全延長80キロぐらいあったかと思いますが、今度斑尾の山頂へ到達いたしますと、今度は信越トレイルという遊歩道がそこから始まっております、そちらは苗場山まで110キロぐらいあったかと思うのですが、それがつながりますと、全体で200キロに及ぶ遊歩道と言いますか、が完成いたします。そうなりますと、そのルート沿線に様々な観光スポット、ビューポイント、本当にもう説明しきれないほど数多くの拠点がありますので、そういった所と一体になって、観光振興が図れば良いかなと願っております。以上です。

●議長(佐藤武雄) 北村富貴夫議員。

◆1番(北村富貴夫) 開発という言葉の中に、広域的な連携というものがお話の中がありました。これは大変重要な事だと思っておりますので、この野尻湖の周遊ルートを開発していくといった時に、今の広域的に全てを網羅して観光振興になっていただければと思いますので、そこはぜひお願いしたいと思っております。町民にとっては、町長の所信の中の言葉を聞いていて、私は大変期待するものがありました。ぜひそこはしっかりと観光振興に役立つようお願いしたいと。それから案内サインを統一感のある物にするという事は、信濃町をアピールする上で、大変重要だと思っておりますが、デザイン等はどのように進めていくのか、その辺だけお伺いしたいと思っております。

●議長(佐藤武雄) 佐藤産業観光課長。

■産業観光課長(佐藤巳希夫) 案内サインにつきましては、令和5年度にインバウンド対策も含めまして、親水公園の案内版を作成するという事で計画しております。こちらについては、国立公園内という事で、木製で色は茶色を基調としたというような物をイメージしております。そのデザインを今後の設置、それから更新のベースにして、考えていきたいと考えております。また国立公園外のエリアにつきましては、国内外から来訪される方が、迷うことなく容易に目的地にたどり着けるというような、分かりやすい、プラス景観にも配慮した案内サインが求められておりますので、県で作成しました令和2年6月に作成された長野県案内サイン整備指針等、参考にしまして、書体、英語表記などの統一性、連続性等を確保できるような基本的な考え方で整備できるように、区域内統一したデザインでと考えているところです。以上です。

令和5年第421回信濃町議会定例会3月会議 会議録(3日目)

●議長(佐藤武雄) 北村富貴夫議員。

◆1番(北村富貴夫) インバウンド対策ということもありますので、しっかり統一した分かりやすい、そういうデザインにしていただければと思います。この信濃町のデザインは大変素晴らしいと思えるような物にしていただければと思います。妙高、黒姫それから火打、戸隠、飯綱そして野尻湖が含まれる、この妙高戸隠連山国立公園は大変風光明媚な所だと思っています。その中で信濃町の観光の拠点ともいべき野尻湖を有効に利用していくべきだと思いますので、どうぞよろしくお願いします。私からは以上で、一般質問を終わりにします。

●議長(佐藤武雄) 以上で北村富貴夫議員の一般質問を終わります。この際申し上げます。10時30分まで休憩といたします。

(終了 午前10時17分)